

平成25年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

大仙市分析結果



I 実施状況

1 調査の目的

- (1) 子どもの体力の状況を把握・分析することにより、体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- (2) 子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象とする児童生徒

国・公・私立学校の小学校第5学年と中学校第2学年の全児童生徒

全国小学校	20,331校	秋田県小学校	230校
全国中学校	9,822校	秋田県中学校	131校

3 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

①実技に関する調査

- ・小学校8種目…握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立幅とび、ソフトボール投げ
- ・中学校8種目…※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択して実施
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(男子1500m、女子1000m)、20mシャトルラン、50m走、立幅とび、ハンドボール投げ

②質問紙調査

- ・運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

- ・子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

(3) 教育委員会に対する質問紙調査

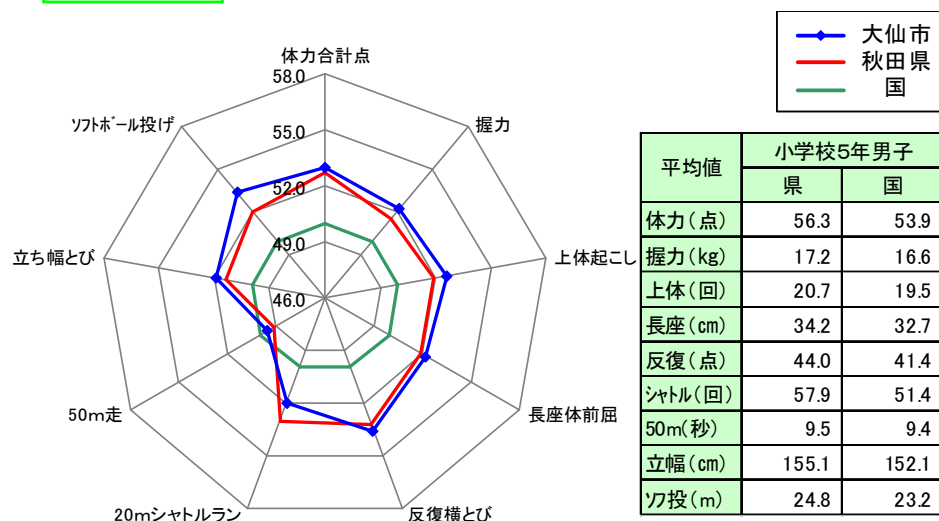
- ・子どもの体力向上に係る施策等に関する調査

Ⅱ 体力・運動能力調査の結果

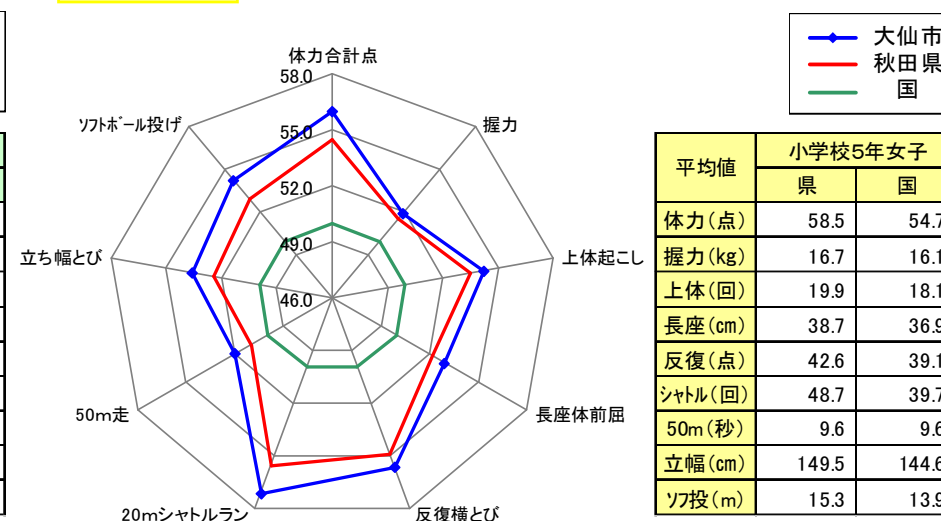
1 小学校の状況

※グラフは各種目、体力合計点を全国平均を50として比較
(体力合計点：実技の数値を得点化し合計したもの)

5年男子



5年女子



○小学校5年男子

- ・ 8種目中ほとんどの項目で国や県を上回っている。1種目(シャトルラン)は国を上回っているが、県を下回っている。1種目(50m走)は県を上回っているが国を下回っている。体力合計点は、国や県を上回っている。

○小学校5年女子

- ・ 8種目中すべての項目で国や県を上回っている。体力合計点も国や県を上回っている。

○小学校5年男女総合評価

- ・ 総合評価「A」の児童の割合は、男女共に国を(男：約9割、女：20割)上回っており、県よりも上回っている。総合評価「D、E」の下位層の割合の合計は、男女共に国よりも少ない。

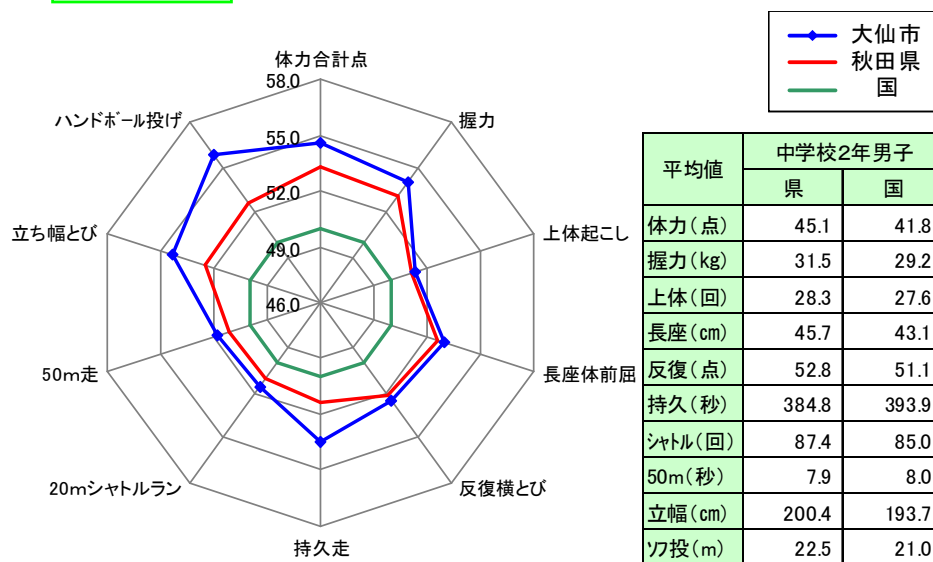
※総合評価…体力テストの合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した評価

Ⅱ 体力・運動能力調査の結果

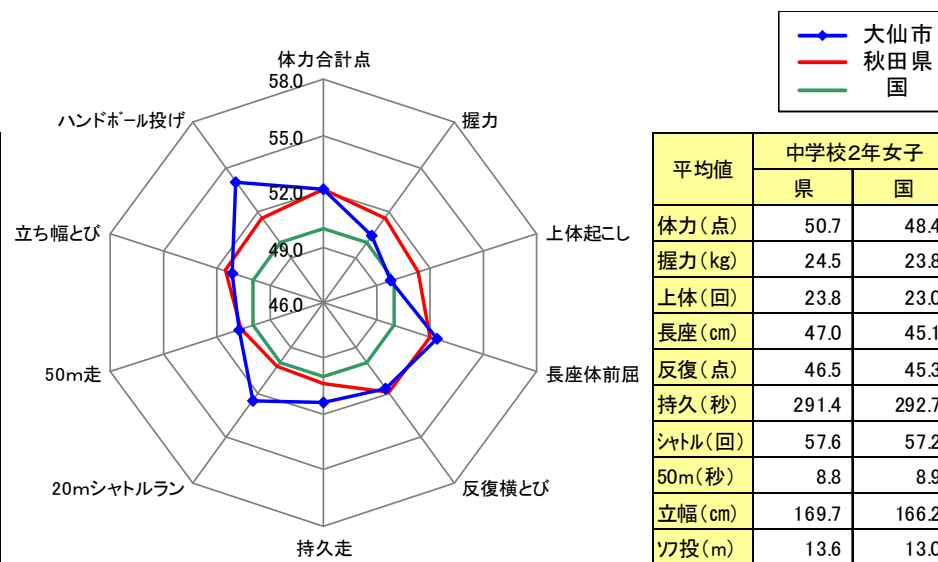
2 中学校の状況

※グラフは各種目、体力合計点を全国平均を50として比較
(体力合計点：実技の数値を得点化し合計したもの)

2年男子



2年女子



○中学校2年男子

- ・ 9種目中すべての種目で国や県を上回っている。体力合計点も国や県を上回っている。

○中学校2年女子

- ・ 9種目中4種目（長座体前屈、持久走、シャトルラン、ソフトボール投げ）で国や県を上回っており、3種目（握力、反復横飛び、立ち幅とび）は国を上回っているが、県を下回っている。また、1種目（上体起こし）は国や県を下回っている。体力合計点は、県とは同程度で国を上回っている。

○中学校2年男女総合評価

- ・ 総合評価「A」の生徒の割合は、男女共に国を（男：約9割、女：約7割）上回り、男子は県よりも上回っている。男子は総合評価「B」の生徒の割合も国を約10割上回っている。総合評価「D、E」の下位層の割合の合計は、男女共に国や県より少ない。

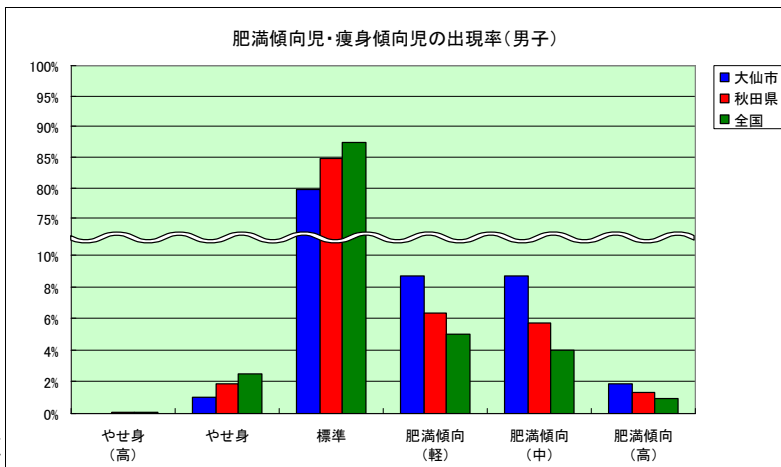
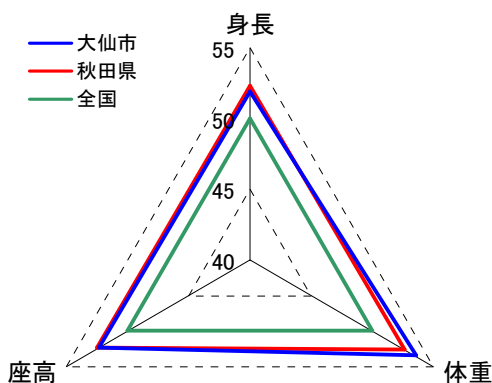
※総合評価…体力テストの合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した評価

Ⅲ 体格調査の結果

1 小学校の状況

5年男子

全国を50として比較

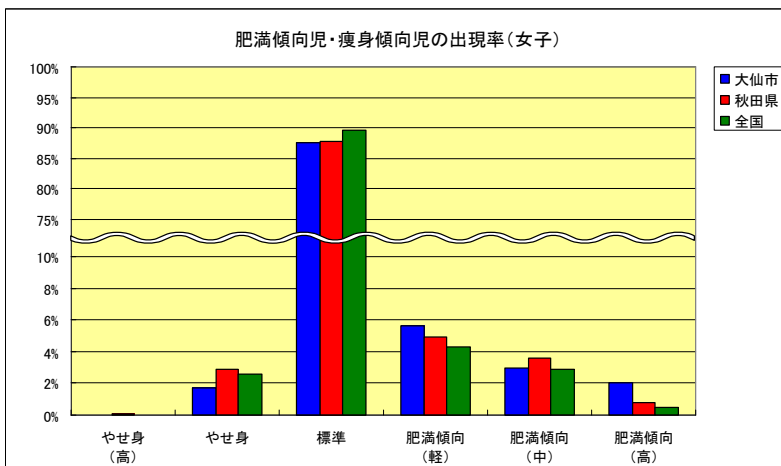
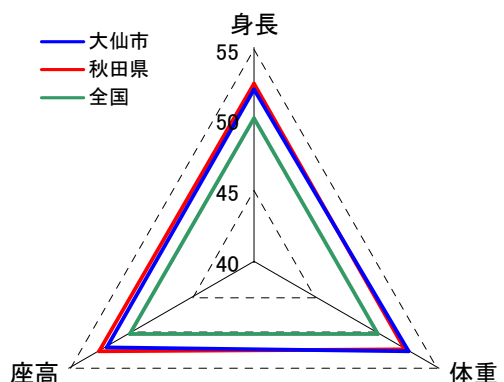


○小学校5年男子

- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を1.9～3.5歳上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が7歳以上少なく、「軽度肥満」が3.7歳、「中度肥満」が4.7歳、「高度肥満」が1.0歳多い。

5年女子

全国を50として比較



○小学校5年女子

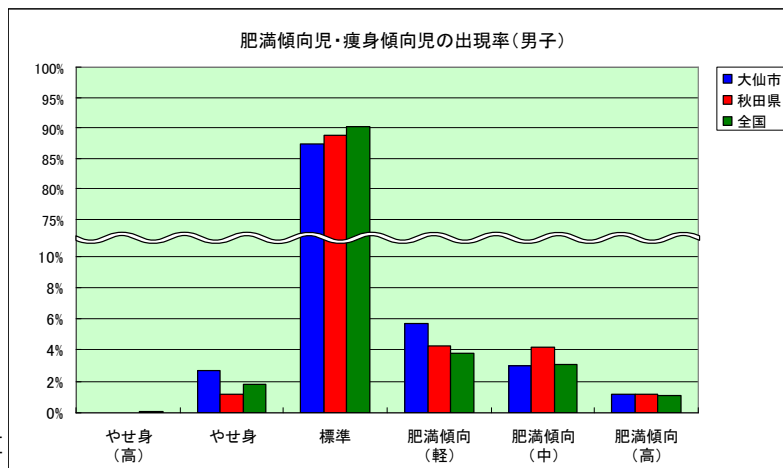
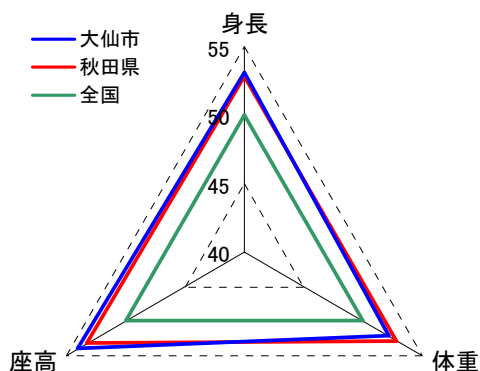
- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を1.9～2.4歳上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が1.9歳少なく、「軽度肥満」が1.3歳多く、「中度肥満」が0.1歳、「高度肥満」が1.5歳多い。

Ⅲ 体格調査の結果

2 中学校の状況

2年男子

全国を50として比較

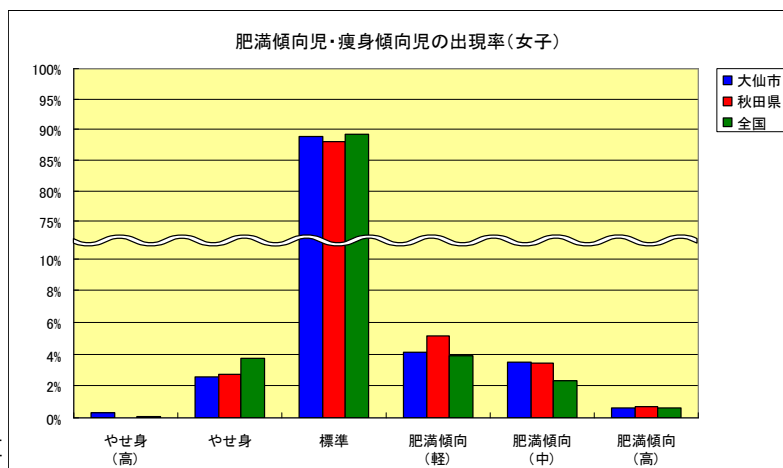
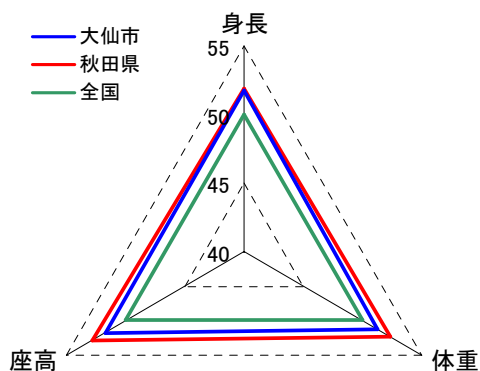


○中学校2年男子

- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を2.2~4.1%上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が2.7%少なく、「軽度肥満」が1.9%多く、「中度肥満」が0.1%少なく、「高度肥満」が0.1%多い。

2年女子

全国を50として比較



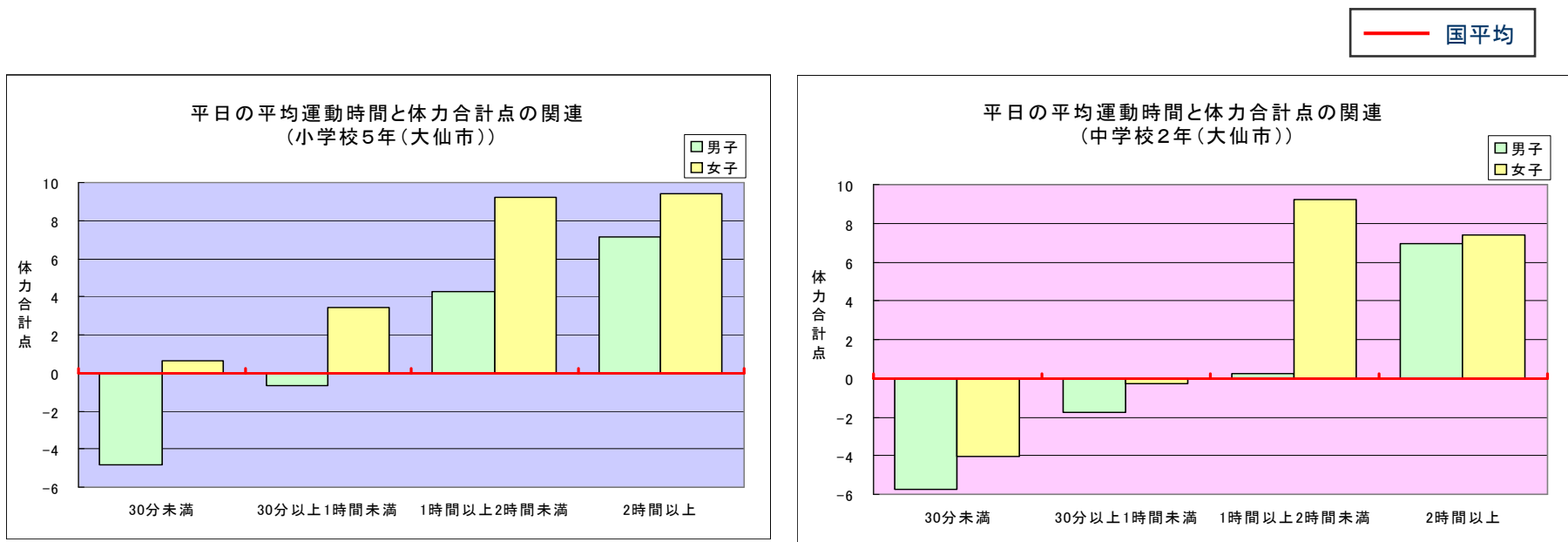
○中学校2年女子

- ・身長、体重、座高の全ての項目で全国を1.2~1.7%上回っている。
- ・やせ身・肥満傾向出現率において、全国より「標準」が0.5%少なく、「軽度肥満」が0.2%、「中度肥満」が1.2%多い。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

① 平日の平均運動時間と体力との関連

Q 学校や学校外で1日の運動やスポーツをしている時間を合計するとおおよそどのくらいしていますか
(学校の体育の授業を除く) ※5日間の平均



○小学校男女共に、平日の平均運動時間（体育を除く）が長くなるにつれて体力合計点が高くなっている。女子は、運動時間にかかわらず体力合計点が全国の平均値を上回っており、2時間以上運動している場合は8歳以上上回っている。

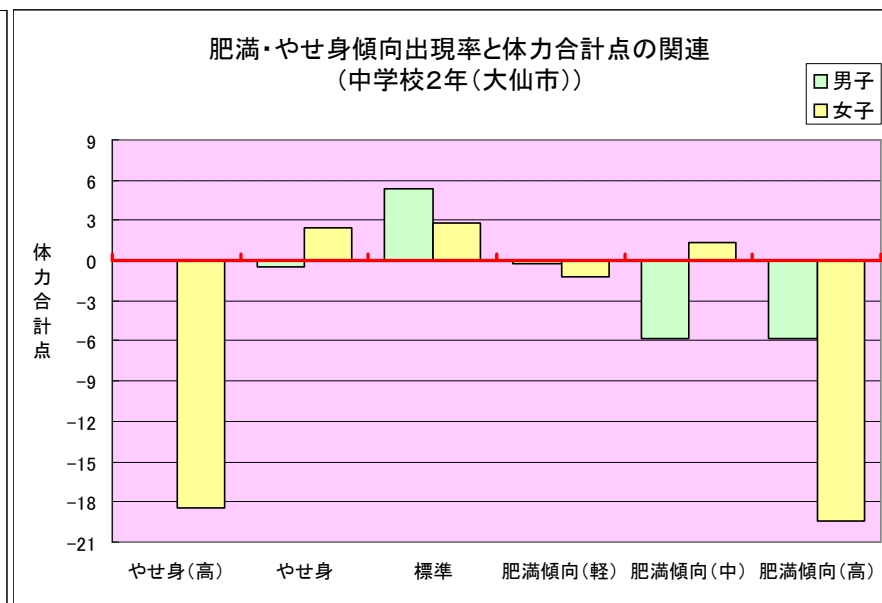
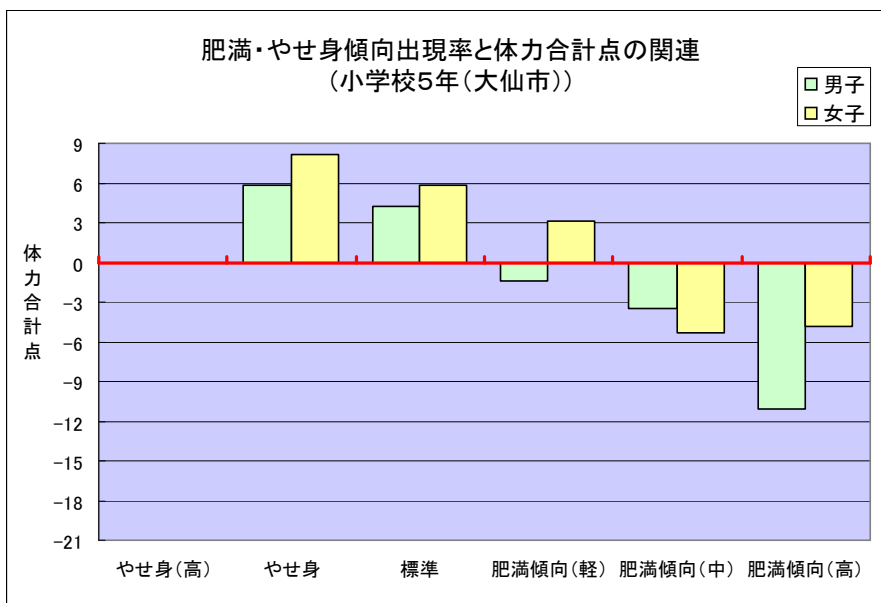
○中学校男子は、平日の運動時間（体育を除く）が2時間以上になると体力合計点が顕著に高くなり、全国の平均を約7歳上回っている。女子は1時間以上2時間未満の運動をしている場合の体力合計点が顕著に高く、全国の平均を9歳以上上回っている。

IV 運動習慣、体格と体力との関連

② やせ身・肥満傾向と体力との関連

肥満度	判定	肥満度	判定
50%以上	高度肥満	-19.9 ~ 19.9%	正常
30 ~ 49.9%	中程度肥満	-29.9 ~ -20%	やせ
20 ~ 29.9%	軽度肥満	-30%以下	高度やせ

— 国平均



- 小学校では、男子は「やせ身」「標準」の児童が、女子は「やせ身」「標準」「肥満傾向(軽)」の児童が体力合計点が高く、全国平均を上回っている。
- 中学校では、男子は「標準」の生徒が、女子は「やせ身」「標準」「肥満傾向(中)」の生徒の体力合計点が高く、全国平均を上回っている。
- ◎小学校は男女共に、「やせ身」の児童の体力合計点が、中学校は男女共に「標準」の生徒の体力合計点が高く、全国平均を上回っている。

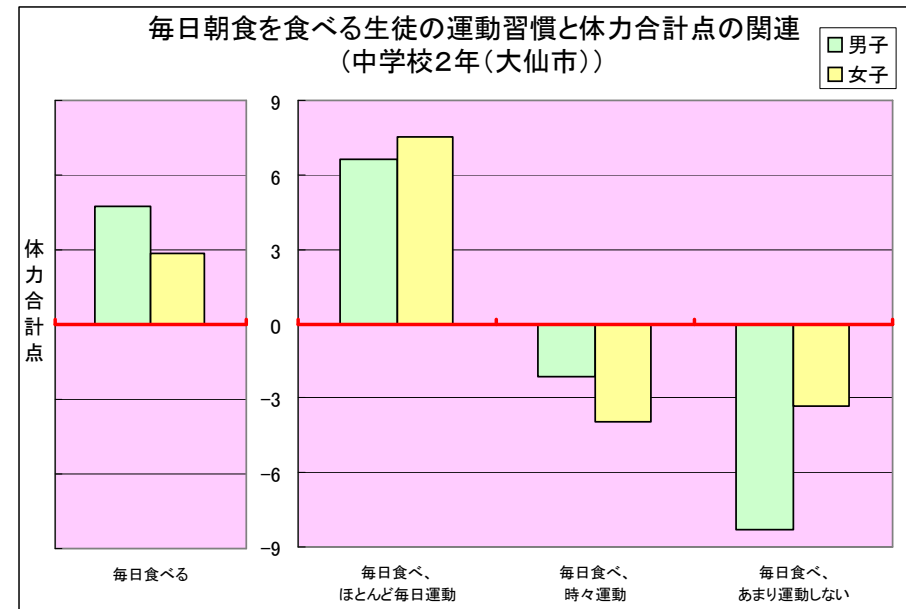
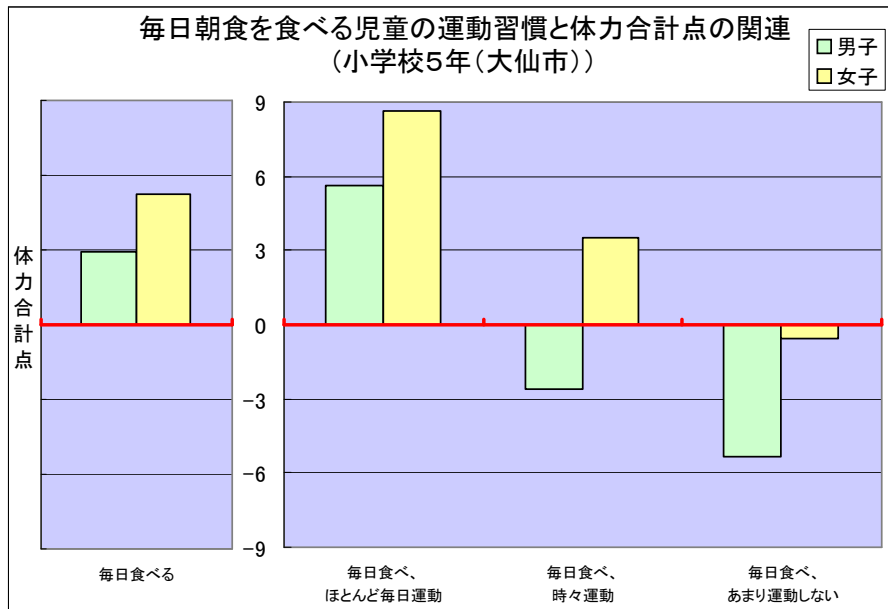
IV 運動習慣、体格と体力との関連

③毎日朝食を食べる児童生徒の運動習慣と体力合計点との関連

Q 朝食は食べますか

Q 運動やスポーツをどのくらいしていますか（体育の授業を除く）

— 国平均



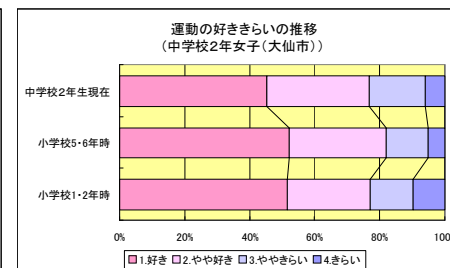
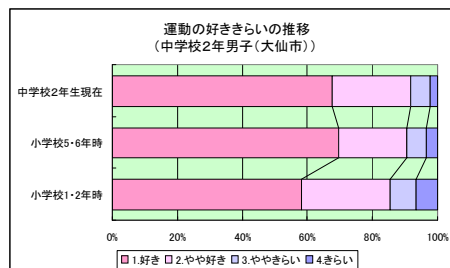
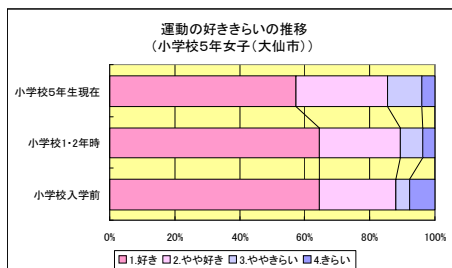
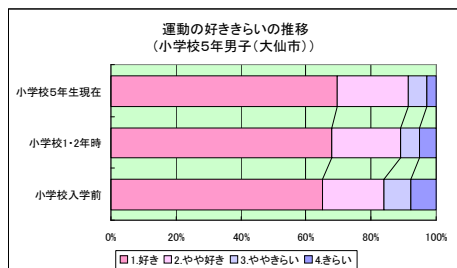
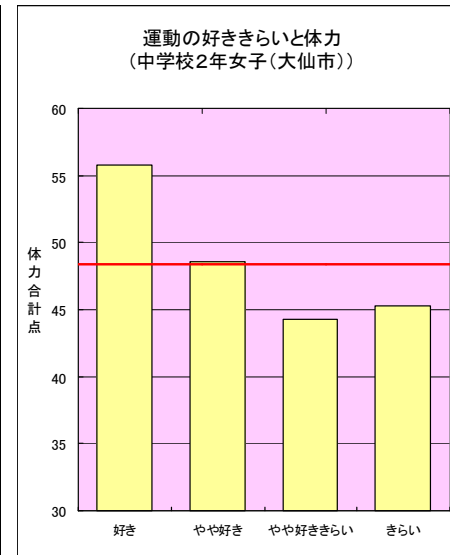
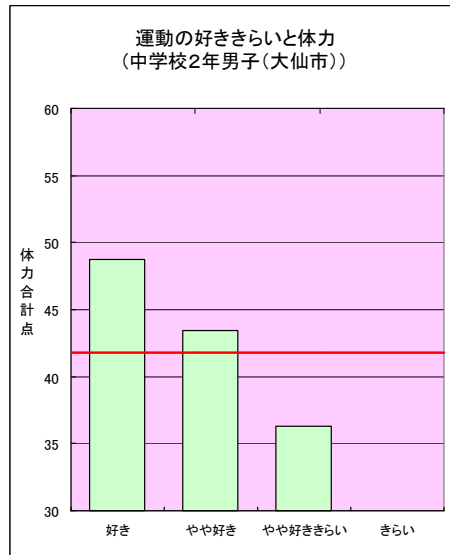
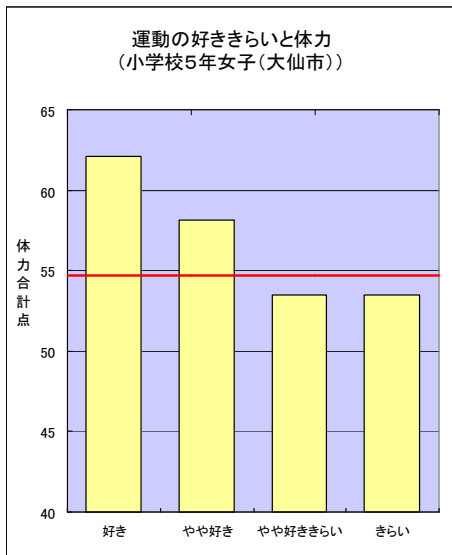
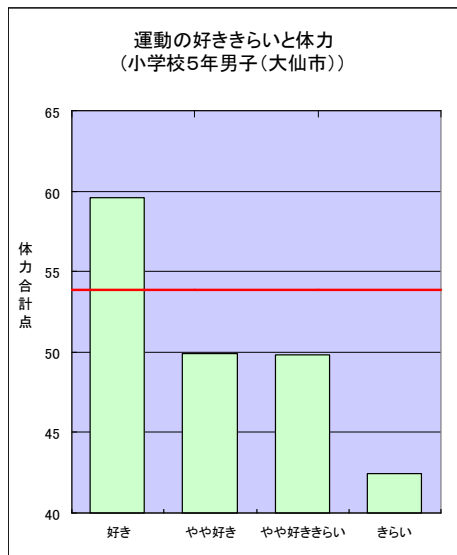
○毎日朝食を食べ、ほとんど毎日運動している児童生徒の方が体力合計点も高く、全国平均を上回っている。小・中学校の男女共に顕著である。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

①運動が好きな児童生徒と体力合計点との関連

Q 運動やスポーツをすることは好きですか

— 国平均



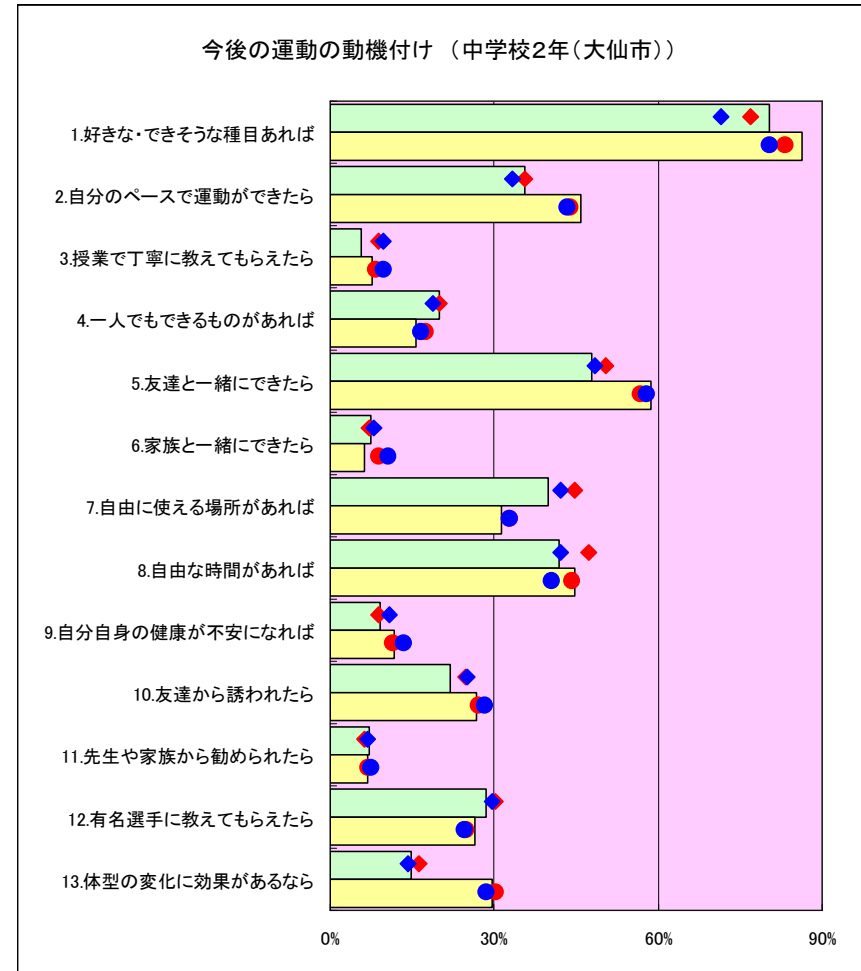
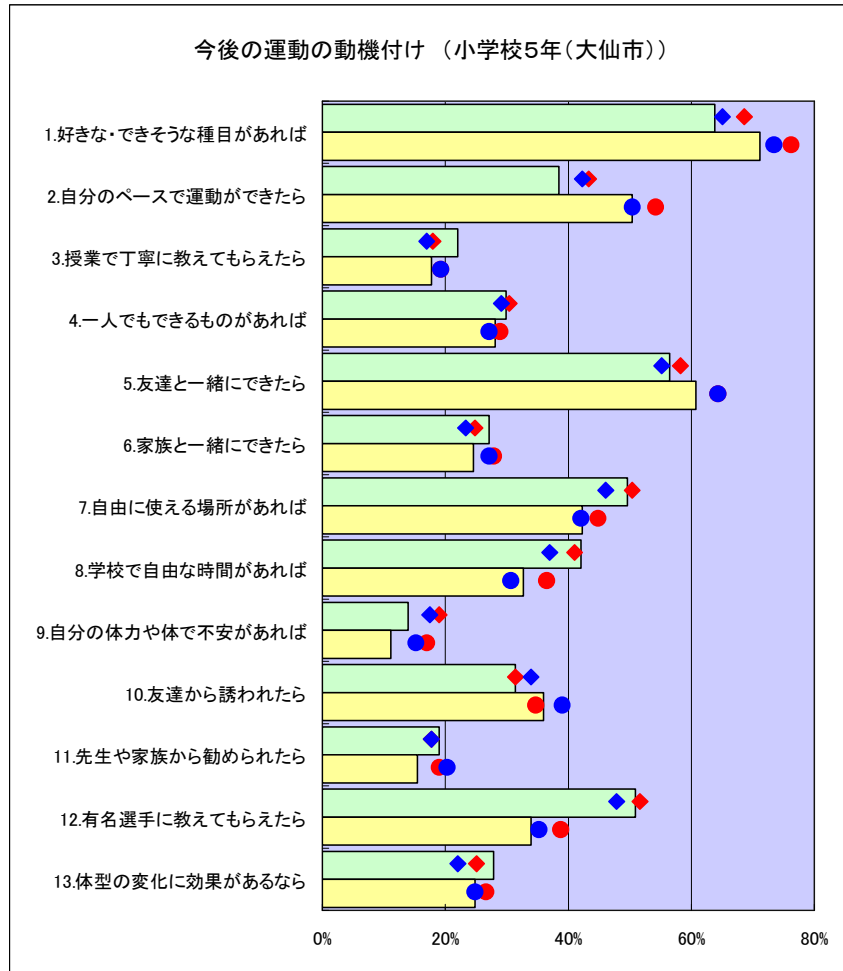
○小・中学校男女共に、運動やスポーツが好きな児童生徒の体力合計点が高く全国平均を上回っている。
○運動の好ききらいの推移では、小・中学校の男子は学年が上がると「好き+やや好き」の割合が増えているが、女子は高学年になると「ややきらい+きらい」の割合が増えている。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

Q 今後どのようなことがあれば、今よりもっと運動やスポーツをしてみようと思いますか。（複数回答）

各選択肢を選んだ児童生徒の割合

□市男子 □市女子 ◆県男子 ●県女子 ◆国男子 ●国女子



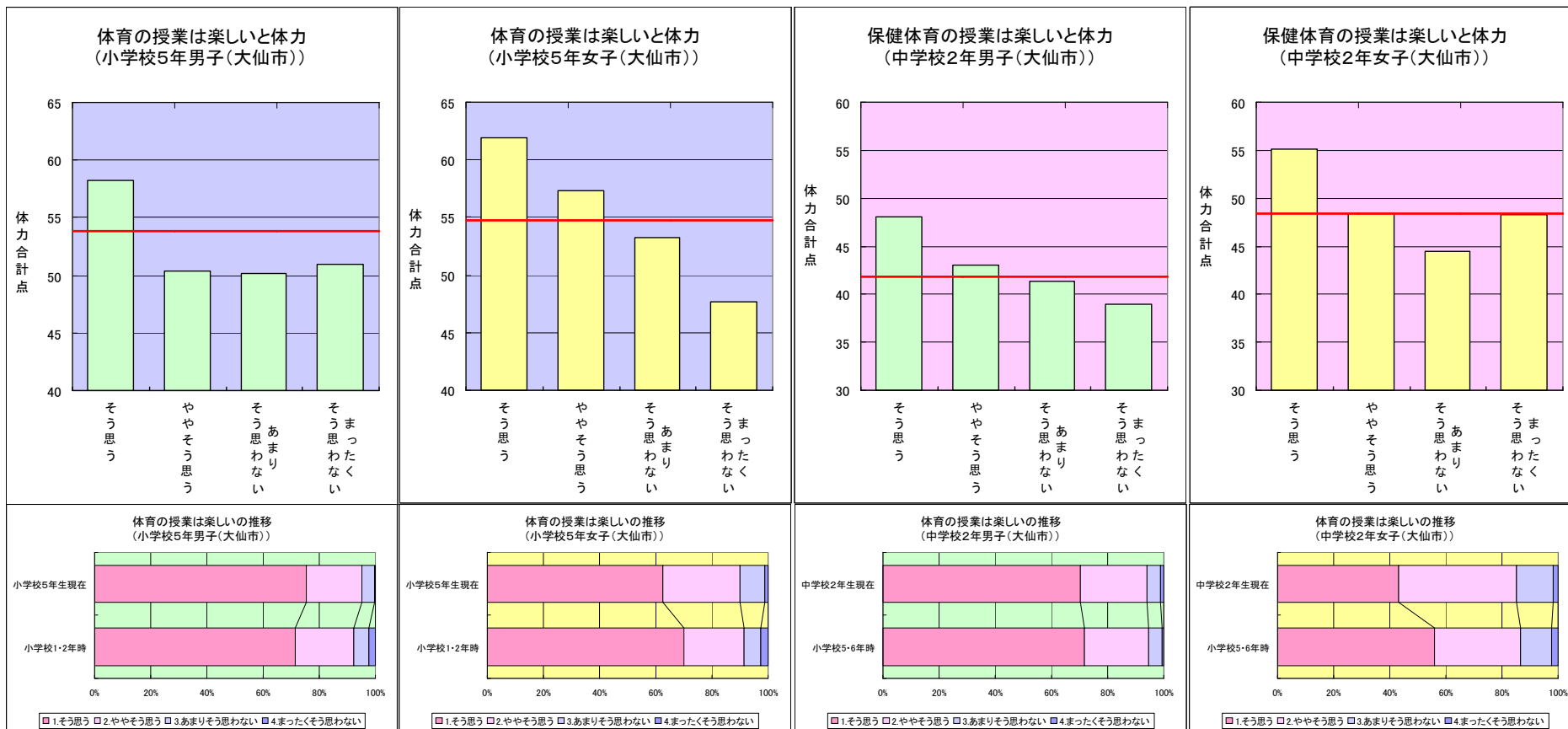
○小・中学校男女共に、「好きな・できそうな種目があれば」を選択している児童生徒の割合がもっとも多く、「友達と一緒にできたら」が次に多い。全国や県と同じような傾向が見られる。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

② 体育の授業が楽しい児童生徒と体力合計点との関連

Q 体育／保健体育の授業は楽しい

— 国平均

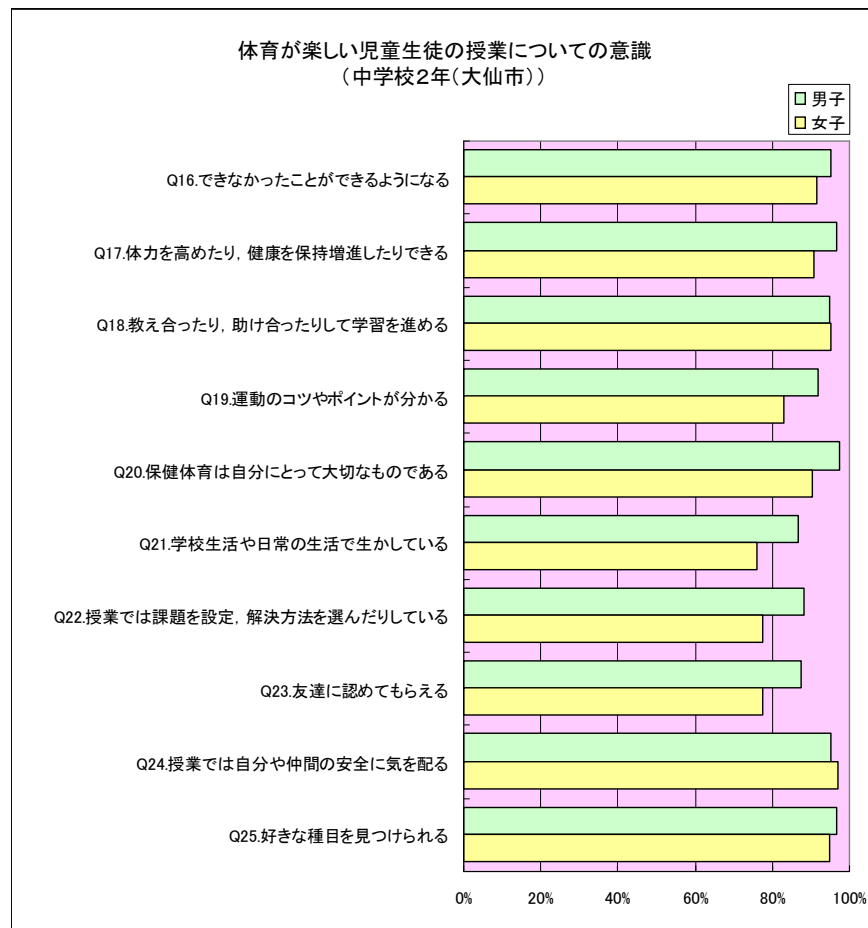
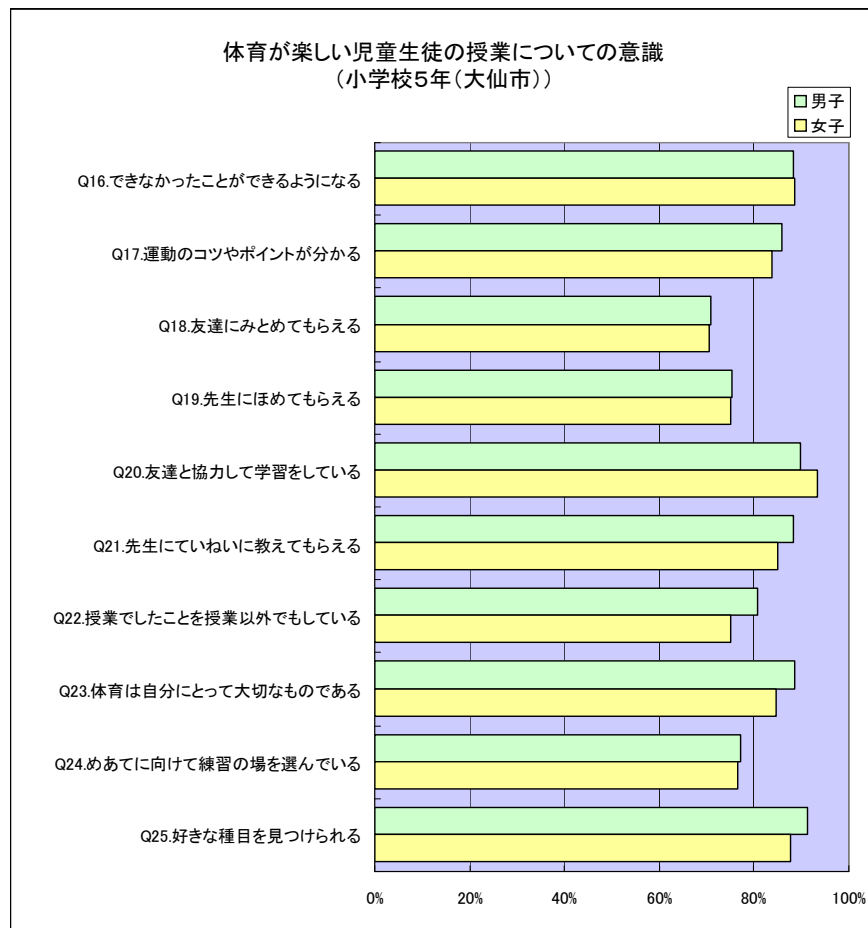


- 小・中学校男女共に、「体育の授業が楽しい」と思っている児童生徒の割合が多く、体力合計点も高い。全国平均も上回っている。
- 体育の授業に関する意識の推移を見ると、小・中学校の男子は「楽しい」と思っている割合が横ばいであるが、女子は減少している。

V 運動、スポーツに関する意識と体力との関連

体育の授業が楽しいと答えている児童生徒の授業における意識

各項目で「そう思う」「ややそう思う」と答えた児童生徒の割合の合計



○小・中学校男女共に、楽しいと感じている体育の授業の中で「好きな種目を見つけられる」「友達と協力して学習をしている」「できなかったことができるようになる」という質問に肯定的に答えている児童生徒の割合が多い。

VI 考察

1 本市の傾向

<体力・運動能力調査> (※全国平均を50として比較)

○体力・運動能力において小・中学校の男女共にほとんどの項目で全国を上回っている。

○総合評価「A」の児童生徒の割合は、小・中学校の男女共に全国を上回っており、中学校2年女子以外は県も上回っている。総合評価「D、E」の児童生徒の割合は、小・中学校の男女共に全国より少なく、小学校5年男子以外は県よりも少ない。

◎小学校5年女子のソフトボール投げ、中学校2年男子の握力は、全国1位である本県を上回っている。

◎小学校5年女子は、20mシャトルランで10割以上全国を上回っている。

△小学校5年男子50m走、中学校2年男女20mシャトルラン、女子上体起こしは全国を下回っている。

<体格調査>

○小・中学校男女共にT得点（全国平均値に対する相対的位置を示す）において、身長、体重、座高全ての項目で、小学校は1.9~3.5割、中学校は1.2~4.1割全国を上回っている。

△肥満傾向出現率において、「標準」の児童生徒は、小・中学校男女共に全国より若干下回っており、総じて「肥満傾向」の児童生徒が全国より若干多い。

<質問紙調査>

○運動やスポーツが好きな児童生徒、体育の授業が楽しいと感じている児童生徒の割合は全国を上回っており、体力合計点も高い。体育が楽しいと感じている児童生徒は、授業の中で「友達と協力して学習をしている」「好きな種目を見付けられる」についての肯定的な回答が多く、今後の運動の動機付けの項目ともリンクしている。

2 改善に向けて《やせ身や肥満傾向改善のために》

◇運動習慣確立のための継続的な取組の実施

○業間運動や放課後持久走などを継続的に行い、運動を習慣化する場と時間を設定するなど全校体制の取組を推進する。

◇食習慣・生活習慣確立のための継続的な取組の実施

○食育や授業などをとおして生活の見直しをさせ、正しい食習慣や基本的生活習慣の確立を図る取組を推進する。

○保護者・地域と連携して子どもの正しい食習慣や生活習慣の確立を図る。

◇運動やスポーツに対する意欲を高める取組の実施

○体育の授業においては、仲間とかかわり関わり合いながら進める学習の充実や自ら選択して取り組めるような条件整備等、運動やスポーツへの意欲を高める授業改善を更に推進する。